（様式第2号）

地域振興推進費事業計画・自己評価書

提出区分	実績		
整理番号	6	課題区分	C

令和2年5月11日
地域振興局

実施機関	長野保健福祉事務所	担当課	所属	長野保健福祉事務所
事業名	長野果物語り・EAT（健康に食べる）推進事業		電話	225－9045
			E-mail	nagaho-kenko@pref.nagano.lg.jp

事業の概要等		
	目的（目指す姿）	望ましい栄養バランスの整った食生活と適度な運動の実践により県民の健康づくりを推進する
	現状と課題	脳血管疾患の標準化死亡比が、県内の他地域に比べ多い。また、若年層においては、果物と野菜摂取が不足している。 主食、主菜、副菜の整った食習慣、適度な運動、健診の受診等を実践することにより、健康づくりを推進させる必要がある。
	内容（変更後の内容）	1　健康づくりフォーラムを開催し、健康づくり実践活動の啓発普及を図る。 2　若年層の果物と野菜の摂取量が少ない理由、果物摂取に対する意識等に関する調査を行う。
	事業期間	令和元年12月　～　令和2年年3月
	成果目標（成果指標）	健康づくりフォーラムの開催により、健康意識の醸成が図られる。 また、若年層の果物摂取に関する状況を知ることにより、果物摂取の拡大のための資料を得る。

事業費等

（単位：円）

事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考
果物等の摂取に係る調査	若年者に対する果物摂取に関する調査	809,600	調査に係る委託費
健康づくりフォーラム	健康づくりフォーラムの開催	150,400	健康づくりフォーラムの開催
合計		960,000	

事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価
	1　健康づくりフォーラムの開催 令和2年1月29日、参加者数 172人 ・果物を活用した健康レシピの提案（試食） ・信州ACEプロジェクトとながの果物語りのPR ・講演会、健康づくり実践活動発表　等 2　若年層の果物等の摂取に関する健康意識調査に かかる調査の実施 ・野菜・果物をよく摂取する方とあまり摂取しない方へのグループインタビュー　等	1　フォーラムを通して、健康づくり実践活動の啓発普及を図ことができた。 2　若年層が果物の摂取状況を左右する要素を把握するとともに、それを踏まえた果物摂取促進に向けた取組の方向性の整理ができた。	○　期待以上 ◉　期待どおり ○　やや下回る ○　期待以下

今後の方向性	地域の若者が身近にある果物のよさやおいしさを認識する機会を創出し、果物の適正摂取を通じた健康づくりの意識を醸成することとし、若い世代の発想と今どきの間隔を活かした事業展開をする。なお、事業の企画にあたっては、本年度の調査結果を反映させる。